

	構築が重要かと思います。
12.	高額療養費を個々の患者の経済力を考慮して引き下げる。
13.	高い効果が期待できる確立された治療法については、積極的な公費負担をし、万人が治療を受けられる様にするべき。
14.	がん治療は多くが高額療養費となるため、患者負担は一定であるが保険者の負担は増えていくのではないかと予想される。
15.	外来・入院・検査の費用は安くして、その分手術・化学療法に十分な診療報酬を配分する。これによって無駄な通院・入院・検査を抑制しつつ、専門的治療を行う病院の収益を保つことができる。
16.	脳卒中・心臓病などの慢性疾患が身障の対象となり、がんについては公的な医療費の補助が受けられないのはおかしいと思います。
17.	「がん診療の経済的な問題」を考える際に、「がん患者の経済的負担」のみにまどをしぼるのではなく、社会全体の負担を考えて行かなければならないと思う。
18.	所得に関わらず平等に医療が受けられるような制度にして下さい。

治療	
1.	コストパフォーマンスについての EBM の確立が是非必要。
2.	値段が高く奏効率の低いレジメンは、対象患者を限定するべきでは？（がん診療の発展により日本経済は圧迫されているようにも思われる）
3.	保険の財政悪化は今後も深刻化すると思われ、高額医療の制度についても何らかの見直しは避けられないと思う。エビデンスのない治療は経済的理由から、事実上不可能になると思う。その中でエビデンスのある治療は何とか守って行く必要があると思う。
4.	対し、放射線治療は点数が低く、その有効性に比較し、評価は（お金の面での）低く思われます。今後は社会的な資本投資の面からがん治療の中で、どの治療法に金を使うべきか考える必要があると思います。
5.	実施しなくてもほとんど5生率に差が出ないにもかかわらず一律に化学療法を行ったりすることが多すぎる。検査もやらなくても良いものを毎週のように行ったり、そういう無駄を省くだけでもかなり医療費は抑制できると思います。
6.	1つの治療の奏効率と、それに要する費用をそれぞれ呈示することは、非常に難しい。費用を患者が納得するか否かは、治療効果と有害事象の成績がきちんと出せるかにかかると思われる。
7.	今後は①がんの予防②代替医療に力を入れて行くことになると思います。又、根治というよりもむしろできる限り少量の抗がん剤を用いてがん増殖抑制を狙った医療を研究すべきだと思います。

8.	がんの予防、早期発見に努め、抗がん剤使用を極力減らす。
9.	内科的には、定期的なチェックでがん発生予防をする観点での議論を進めて頂きたい
10.	エビデンスを求める現在の状況にあつては、たとえ同効果の薬剤であってもしっかりとしたデータがなければ説明や採用は難しく、このためジェネリックや同類の安い薬価のものにはなかなか切り替えられないと思う。
11.	フォローアップや検査施行間隔、適応のスタンダードが、必要と思われる。ただし、それ以外のことが一切できなくなるのは併害が大きいと思われる。

自己負担減	
1.	分子標的薬剤など、有望な薬剤が海外で多く報告されているが月に100万近い医療費や、生存期間が延長すればするほど患者の借金が増えて行くような現状を何とか改善して下さい。
2.	治療が長期に渡り患者・家族の経済的負担以外にも様々な負担がかかる事。一方で医療費は色々増加しているのでこれ以上の公的カバーは不可能である事。
3.	皆様、がんということでこちらの治療に関しては、従われている。なるべく負担が少なくしてあげられたらと思う
4.	高額な医療費を払えない方も見られるので、個人の経済状態を考えた支払い方法をとってもらいたい。
5.	一般的にはがんという疾患であるため経済的には何とか頑張っで負担されているという印象です。がん治療には高価な薬が多く、自己負担の軽減が最も望まれます。
6.	高額療養費の限度額があり、通常の医療において患者側のコスト意識が問題になることはほとんどありません。
7.	新規開発薬の中には非常に高価なものが多く、「テーラーメイドの治療」といいながらも実際には経済的理由で治療を受けられる人は制限されるように感じている。
8.	今後経済的な問題で医療内容に格差が広がるのは避けられないと思う。公費負担をこれ以上減らすのは問題だと思う
9.	現状が続けば貧しい者は適切な医療を受けられなくなる社会が到来する！
10.	大腸がん化学療法を行なうのに月100万円位かかってしまう時代がすぐ来ます。我々はどこまでできるのでしょうか。
11.	以前はそういうことはありませんでしたが、3年くらい前から、お金の問題で医学的に最善と思われる治療を拒否する患者さんが散見されるようになってきました

情報	
1.	現状の把握が最優先。(何にどれぐらいのお金がかかっているか。) 医師を含めた医療従事者も国民(患者)も正確な情報が必要。
2.	経済的な理由で自殺を考えるケースがあり、今後ともこの問題に医師のみならずコメディカルが中心となり情報広開してゆく必要があると思います。また MSW 等のソフト面の整備も急務と思います。
3.	各疾患をガイドライン化して、治療の標準化を図る。その標準治療の自己負担分を予め説明する。
4.	現在、経済的な不安をかかえていても、自由に言えないということがよくある。今後は経済的負担も本人、家族に説明し、治療法を選択する必要がある。
5.	医師も患者も治療にいくらかかっているのか知らずにやっていることが、常識からはずれている。
6.	私が勤めている病院にて医療財政・経済に関する話題(問題点・解決策)を医師の口から聞いたことは一度もありません。関心低いのか、関心を隠しているのか…
7.	医師側に経済的な情報がほとんど伝わっていないのが現状だと思います。
8.	事前に理解してもらうことを多忙な医師でなく、行える仕組みが必要。
9.	メニューとは言わないが、価格(費用)と期間の提示は必要と考えている。
10.	自己負担上限額があるとはいえ、家族の見舞い、通院の交通費、終末期の経済的・時間的問題なども加わり、患者及び家族の負担は多大になる。まずは情報の開示が重要。

負担増	
1.	負担が小さすぎる高度な医療を受けたいのならもっと自己負担すべき。さもなくば、質の低い医療を甘んじて受けるべき。
2.	経済状況を示し、患者側に、自己の経済に見合った選択をしてもらうようにする。「安く高度な医療を」医療側の犠牲で提供することを強いるような風潮であってはならないと思う。
3.	命の値段について……命が助かるのに、どうしてこんなに安価な治療費負担に不平がでるのでしょうか? 医療事故等で命を落とした場合億単位で訴訟を起こすのに。それを考えると、安すぎると思います。もっと高額にして、支払い制度長期の(分割等)を充実させたらどうでしょうか。
4.	進歩した医学により得られる経済的利益(救命による労働人口の増大や医療ビジネス)を考慮すべきである。医薬開発にかかるコストは莫大でありそのコストを払って医療を受けたいかどうかを自由に国民に問うべきである。欧米に比べて劣悪な労働条件と経済状況にある医師を助けてもらいたい。
5.	がん診療を含め、医療全体が経済的制約をさらに受けるようになるのは避けられな

	い。
6.	医療費の高額化は避けられず、各人が納得する内容を個人負担の増大(公費でなく)で解決して行く以外の方策は無いと考える。
7.	一定額の負担で、均一な医療を提供するシステムは、限界にきていると思われま。
8.	現在までの保険で経済的な問題はさほど生じていないと思うが、今後患者の自己負担率が上がれば、社会問題化する可能性があると思う。
9.	医療費はますます上がると思うが DPC などでもベースラインを置いてさらに治療を希望する場合には自己負担せざるをえないと考える。
10.	早期に自由診療との混合を導入し、2層化をはかるべきと考える。経済的負担は平等でなく公平であるべき。

薬価	
1.	がん治療薬が高価すぎる。
2.	新薬の値段が、以前と比べてけた違いに高くなっており、負担が増えている。膨大な開発費を国費で援助するなど、国際的な政策が必要と考える
3.	分子標的薬剤の薬価を下げて欲しい
4.	抗がん剤開発に巨費が投じられ、薬価も高く、大きな産業となっているのに
5.	有効な制がん剤治療ほどコストが高い傾向があるため、経済的に豊かでないとした治療が選択しにくい時代になってきている。
6.	新しい抗がん剤が、対費用効果が本当にあるのか、という検討も今後必要なのではないのでしょうか。
7.	抗がん剤の高額化は大きな問題である。

民間保険	
1.	入院1日当たりの給付金で宣伝する民間医療保険・がん保険が多いが、通院では保険金が下りない契約をしている人が外来化学療法を受けることになった場合の経済的ダメージが気になる。

医療の質	
1.	病院側にとってもがんをきちんと扱うと経済的に合わなくなるという問題が生じている。例えば消化器がんの中でも大腸がんなどはフォローの仕方でもかなり患者を救うこともできるにもかかわらず、きちんとフォローしていない病院がある。その施設の手術料は減額してもよいのではないかと思う。

厚生労働科学研究費補助金（第3次対がん総合戦略研究事業）  
「がん医療経済と患者負担最小化に関する研究」  
(H16-3次がん-034)

総括・分担研究報告書（平成17年度）

発行責任者 主任研究者 濃 沼 信 夫  
発行日 平成18年3月  
発行 行 〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
東北大学大学院医学系研究科 医療管理学分野  
電話 022-717-8126～9  
FAX 022-717-8130